

# 哲學研究

第貳卷 第八册

第十七號

大正六年八月一日發行

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 時間論……………           | 文學士 田邊 元  |
| 感情の心理(リボアの學說)…………… | 文學士 野上俊夫  |
| 論理的に就て……………        | 文學士 故野崎廣義 |
| 懺悔としての哲學……………      | 文學士 故野崎廣義 |
| 雜錄……………            |           |
| 彙報……………            |           |

京都市帝國大學文學科大學內

京都哲學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

|      |       |
|------|-------|
| 文學博士 | 西田幾多郎 |
| 文學博士 | 朝永三十郎 |
| 文學士  | 千葉胤成  |
| 文學博士 | 狩野直喜  |
| 文學博士 | 米田庄太郎 |
| 文學博士 | 高瀬武次郎 |
| 文學士  | 中川得立  |
| 文學士  | 植田壽藏  |
| 文學士  | 野上俊夫  |
| 文學博士 | 松本文三郎 |
| 文學士  | 深田武   |
| 文學博士 | 深田康算  |
| 文學博士 | 藤井健治郎 |
| 文學博士 | 小西重直  |
| 寶嚴方治 |       |

### 書記

しては敬服にたへない。終に臨んで著者に希望したいことは、此書に記したことは著者自身には充分理解があり統一があるであらうが、讀者によく理解させるためには今少しく説明を充分にしておらうことである。それから語句の出典をも明記してもらへば尙好都合と思ふ。(定價金壹圓岩波書店發行)(浦川)

寄贈書籍雜誌

出家とその弟子 倉田百三著 岩波書店  
 新著梗概第十二輯 文學博士 中島力造編 目黒書店  
 哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、密宗學報、東洋哲學、無盡燈、東亞之光、早稻田文學、學校教育、教育、内外教育評論、普通教育、小學研究、教育研究、教育界、教育時論、三重教育、愛知教育雜誌、長崎縣教育會雜誌、信濃教育、宮城教育、愛媛教育、

前 號 目 次

|                      |      |       |
|----------------------|------|-------|
| 宗教の社會的表現に就いて……………    | 文學士  | 宇野圓空  |
| 神社と宗教……………           | 文學博士 | 松本文三郎 |
| ニイツエの學制論……………        | 文學博士 | 小西重直  |
| 感情に關する諸問題(完結)……………   | 文學士  | 千葉胤成  |
| 美學の基礎に就ての考察(承前)…………… | 文學博士 | 深田康算  |

彙報

會 告 定 價 文 註 規 定

一、本會へ入會希望ノ方ハ直チ本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御送被下度候  
 京都帝國大學 京都哲學會  
 文科大學内 振替口座大阪參〇六六參番

| 冊       | 冊數 | 定價     | 郵稅  |
|---------|----|--------|-----|
| 一冊      | 冊  | 金貳拾錢   | 金壹錢 |
| 六冊(前金)  | 冊  | 金壹圓貳拾錢 | 金壹圓 |
| 十二冊(前金) | 冊  | 金貳圓四拾錢 | 金壹圓 |

○會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候  
 ○本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候  
 ○振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候  
 ○前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ○見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候  
 ○特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正六年七月二十五日印刷納本  
 大正六年八月一日發行  
 第十七號 第八冊



發行所 東京日本橋區本石町三丁目 (振替口座東京二八〇番) 寶文館

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目 寶文館  
 大阪市東區淡路町四丁目

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、上田屋 (大阪) 茂文館 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

編輯者 京都帝國大學文科大學内

右代表者 京都哲學會

發行者 寶嚴方治

印刷者 大葉久吉

刷所 青柳十一郎

秀英舎第一工場